

令和7年1月10日
米子市地域包括支援センター
運営協議会
資料2

米子市地域包括支援センターの 業務効率化の推進について

米子市福祉保健部 長寿社会課

タイムスタディ調査の実施

1. 目的

今後の高齢化の進展等に伴って増加するニーズに適切に対応する観点から、**地域包括支援センターの業務負担軽減や、市民等がアクセスしやすい環境整備に資するICT機器の導入**の具体的な方策について検討を行うため

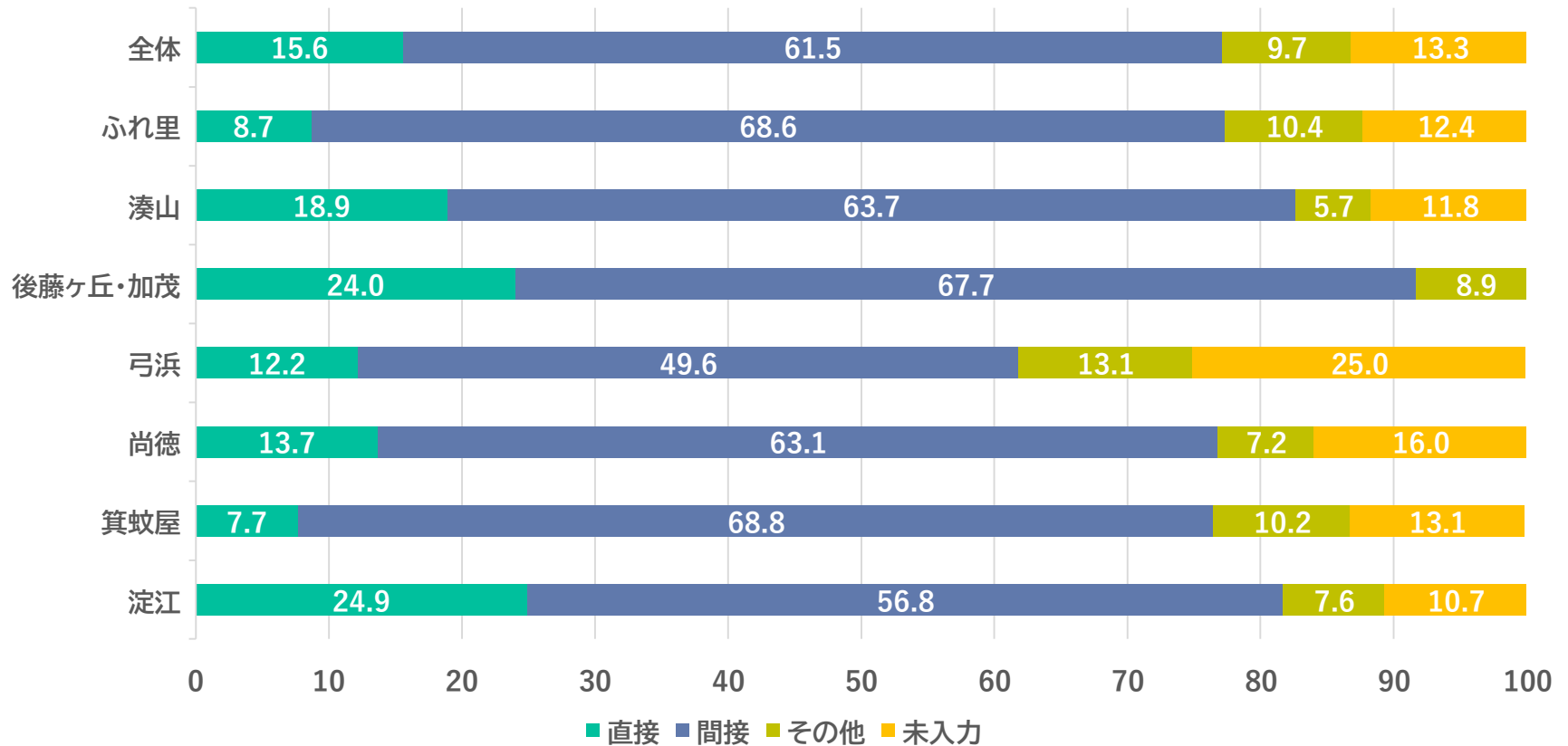
2. 内容

- (1) 対象
市内地域包括支援センター職員
- (2) 調査期間
令和6年9月16日(月)～10月25日(金)
※上記期間中、各センターで任意の1週間を設定して実施
- (3) 使用ツール
タイムスタディ調査・業務改善自動提案アプリケーション「ハカルト」(株式会社最中屋)
- (4) 回答方法
 - ・市民や地域等に対し、センター職員が直接的に支援・実施する業務について「**直接支援**」として回答
 - ・上記業務の実施に係る各種作業等について、「**間接支援**」として回答

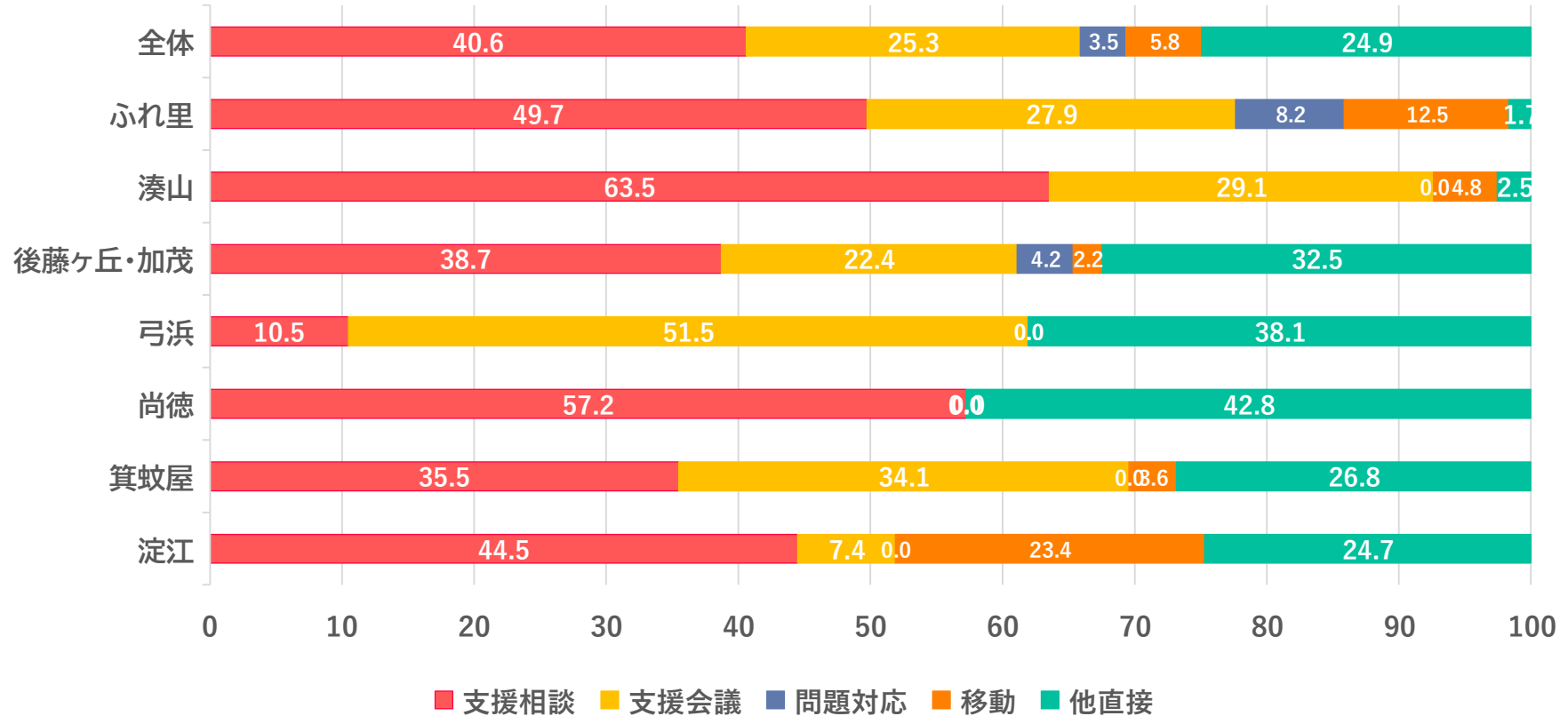
直接支援	間接支援
相談支援 総合相談支援、介護保険に関する問合せ対応等 支援会議 ケース会議、地域ケア会議など 問題対応 ケース対応、緊急対応など 他直接 見守り訪問、同行支援、地域支援など	巡回移動 訪問・会議に関する移動等 アクセス 対象者の身体・生活状況の把握の見立て 計画 ケアプラン作成 連絡調整 関係機関との連絡調整 記録 記録の作成 他間接 事務処理等
その他(休憩時間、余暇時間)	

各センターにおける入力データが不十分な日付を除外し、信頼性の高いデータのみを分析対象とし、単日平均に換算した上で、各業務の時間割合を算出。▶有効率62%(有効サンプル日数22日/初期サンプル日数35日)

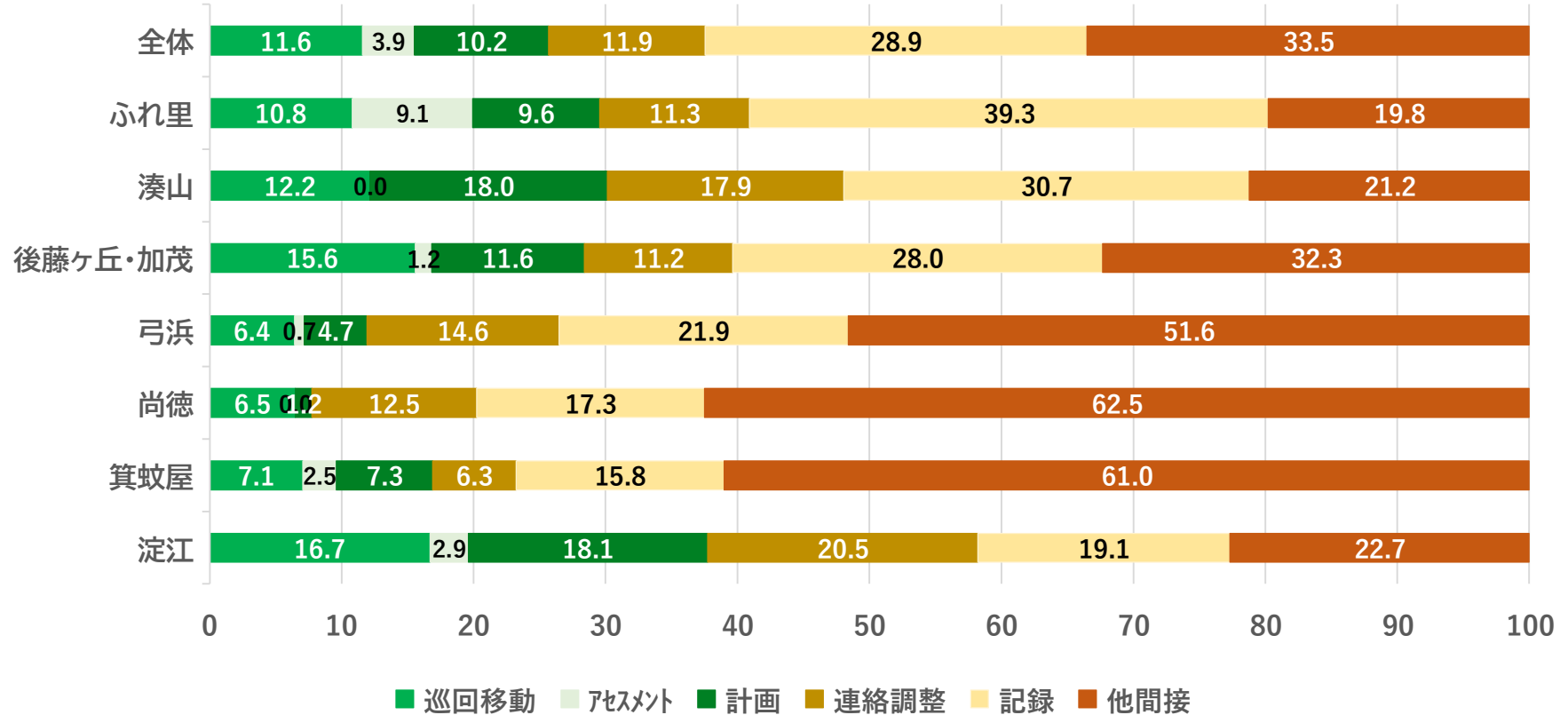
調査結果①（業務分類別の業務割合）



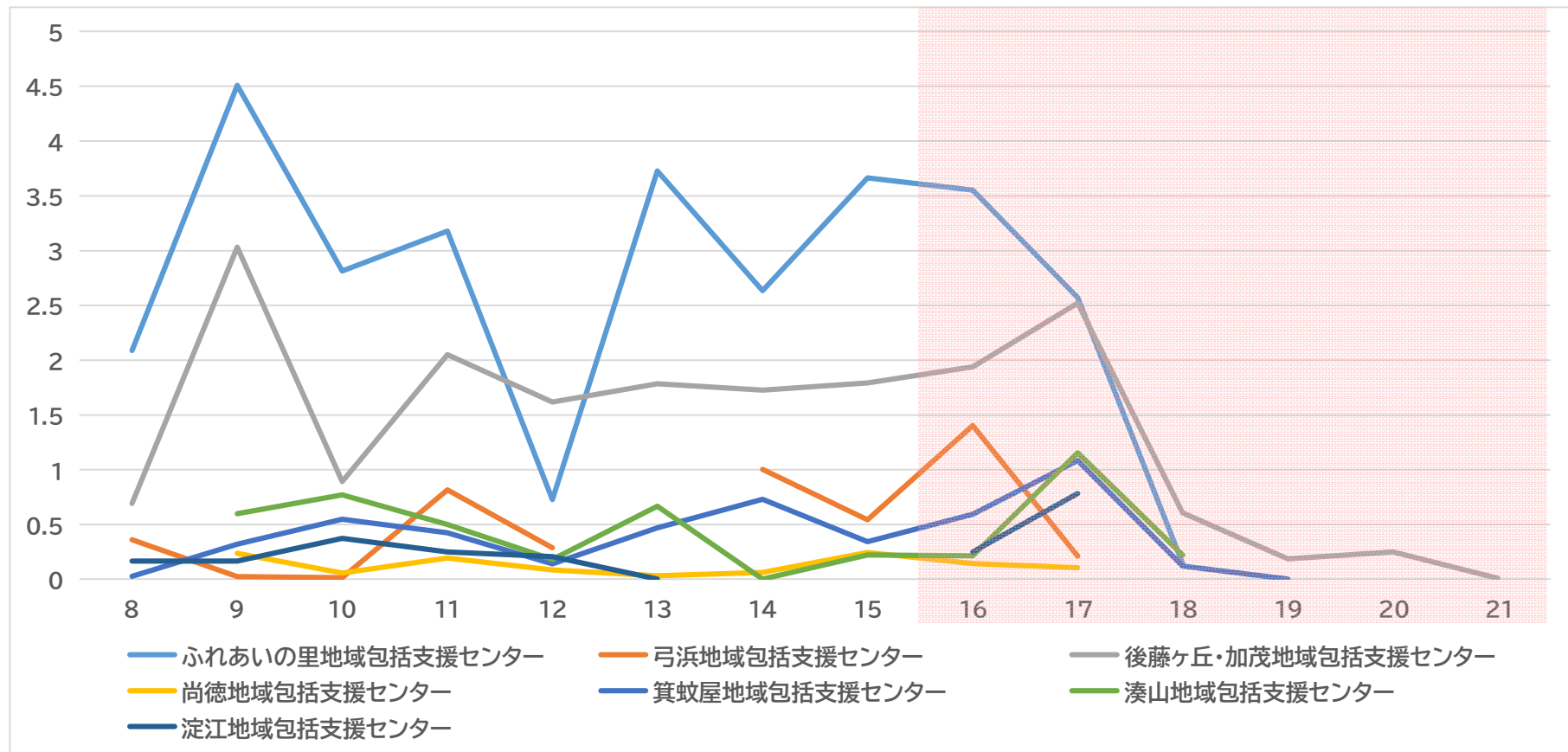
調査結果②（直接支援の業務割合）



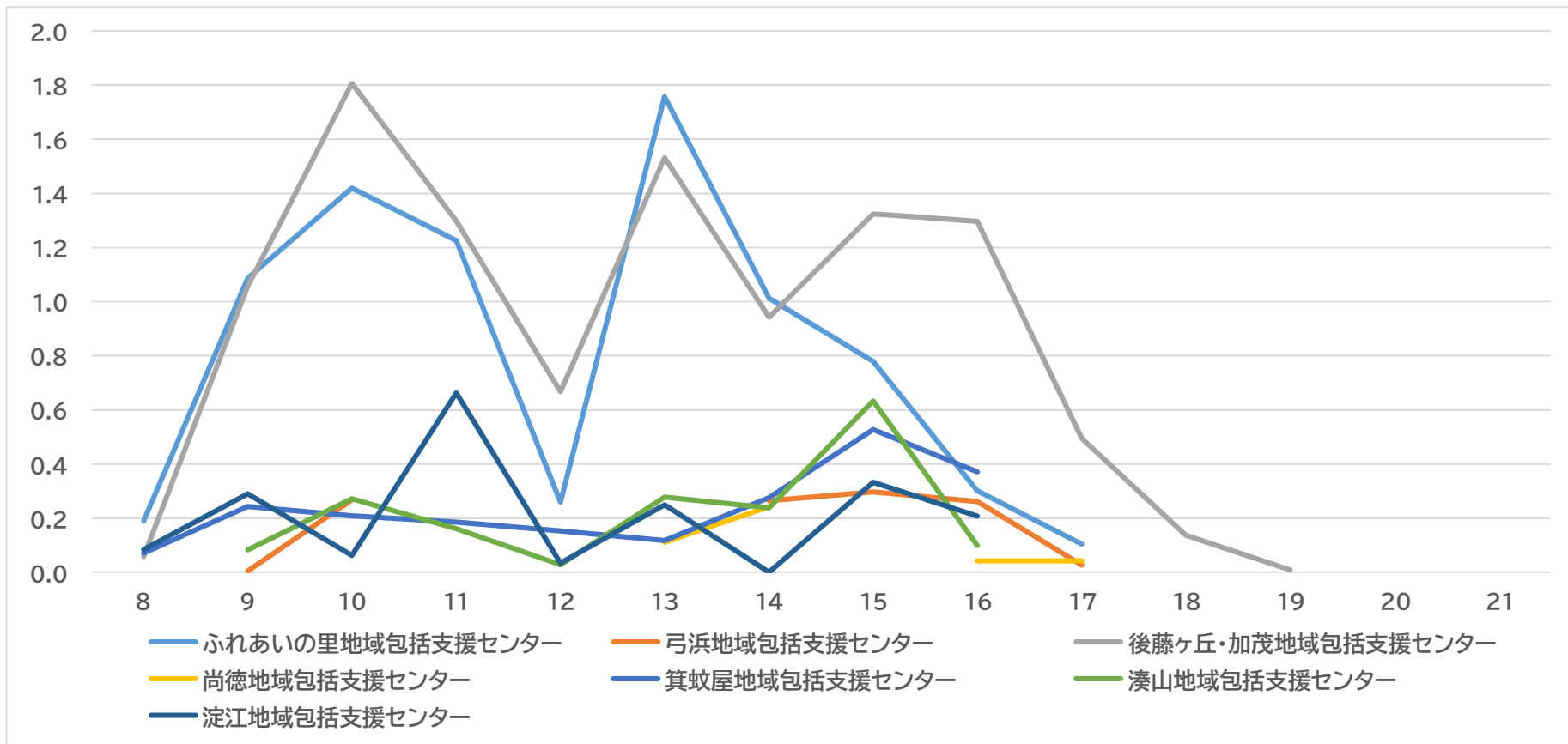
調査結果③（間接支援の業務割合）



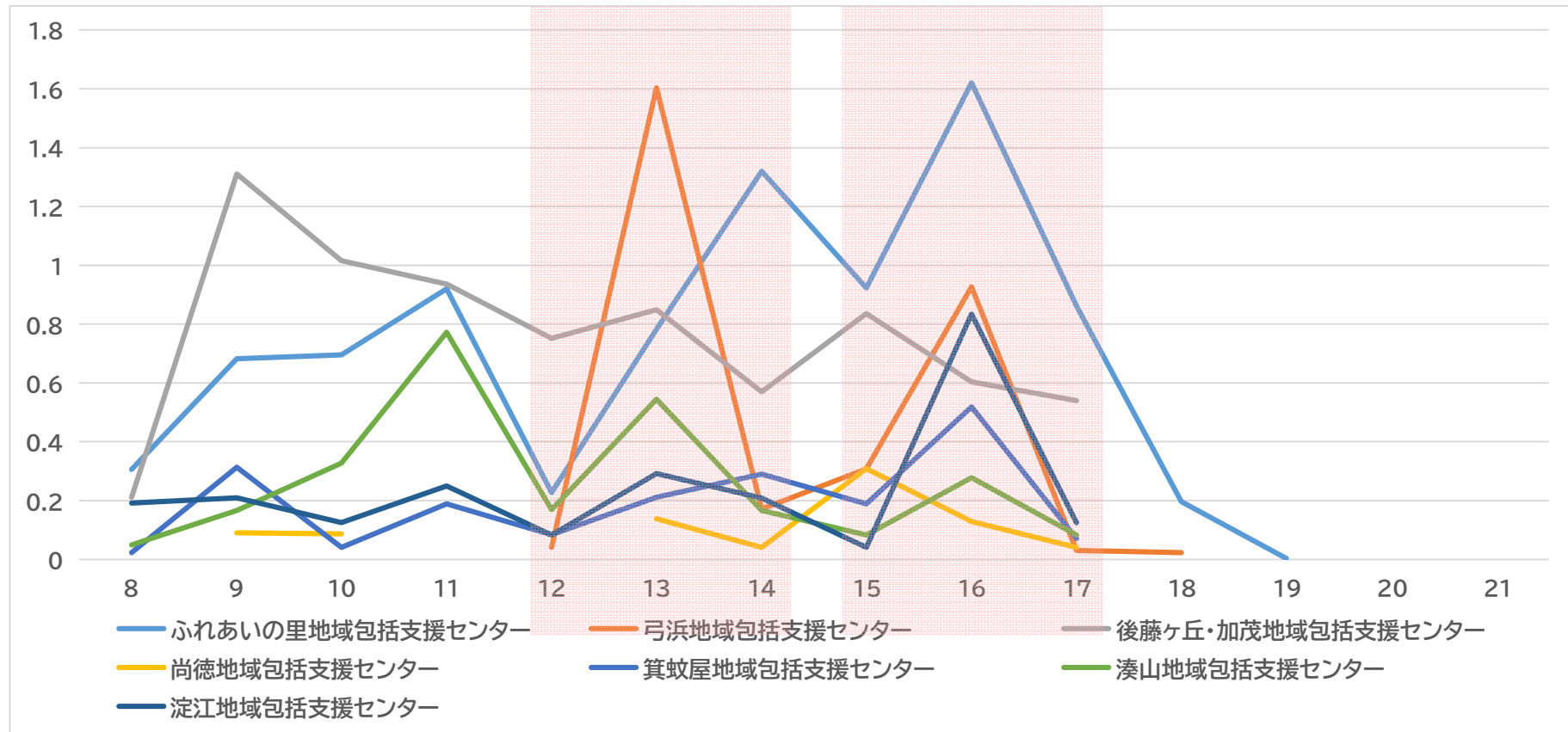
調査結果④（時間帯別の業務実施状況/記録）



調査結果⑤（時間帯別の業務実施状況/巡回移動）



調査結果⑥（時間帯別の業務実施状況/連絡調整）



対応の方向性

「間接業務」 の主な課題

記録

業務の約 3 割を占めており、センターでなければ作業ができない

巡回移動

業務の約 1 割を占めており、事務作業のための移動もあると推察される

連絡調整

特定の時間帯に作業が集中している

方針

時間や場所を選ばない業務実施体制の構築

外出先における記録作業

訪問先や受診同行の待ち時間にも支援記録作業ができる環境づくり

情報共有・各種調整の効率化

相手の都合等によらずいつでも情報の共有や照会、調整ができる環境づくり

各種申請手続き等の電子化

関係機関との書類提出等の手続きの省略化

WEB会議・ICT相談の推進

会場以外の場所（センターや外出先）でも会議等に参加できる環境づくり

今後の取組

候補一覧	
外出先における記録作業	■ ポータブル端末の設置
情報共有・各種調整の効率化	■ LINEWORKSの導入（利用者や家族との日程調整） ■ 電子連絡帳の導入（関係機関との報告のやりとり等） ■ 認定情報共有システムの導入
各種申請手続き等の電子化	■ ケアプランデータ連携システムの普及促進 ■ 市と地域包括支援センター間の各種手続きに係る電子申請の導入
WEB会議・ICT相談の推進	■ 外出先でもWEB会議に対応できるツール（ポケットWi-Fi、モバイルバッテリー、ヘッドセット等）の設置 ■ 市長寿社会課及び各センターへのスマートスピーカーの設置